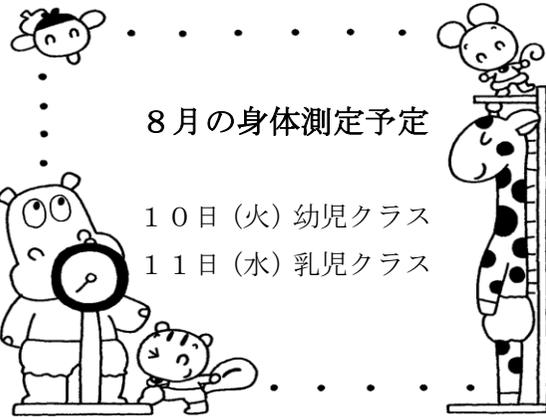




R3 ほけんだより 8月

都内の「新型コロナウイルス感染症」の感染者が増加しており、「緊急事態宣言」が出ています。ワクチン接種も進んできていますが、感染リスクはまだまだ高い状況ですので、感染予防に気を付けていきましょう。また、全国的にRSウイルス感染症が大流行中です。6カ月未満の乳児は重症化しやすいので注意が必要です。暑い夏を乗り切っていくるよう、お子様の体調に気を付けていきましょう。



＜先月の感染症 (6月20日～7月20日)＞
突発性発疹 乳児クラス 3名
●乳児クラスで、「発熱・咳・鼻水・めやに」の症状で欠席・早退するお子様が非常に多かったです。色々な検査をしても、結果が何も出ない状況でした。

＜乳児クラスで「発熱・咳・鼻水・めやに」の症状で欠席されるお子様が急増しました＞

6月末から、上記の症状で欠席・早退が急増し、乳児クラスの出席者が半分の日もありました。

＜・・・園医の半田先生のお話では・・・＞

武蔵村山市内の保育園全体がこのような状況になっているということでした。また、2週間位、熱が上がったり下がったりの状態が続き、様々な検査をしても全て陰性というケースが多いそうです。

重症化して入院するようなこともありますので、お子様の体調をよく見て、無理をして登園して悪化するようなことがないように、保護者の方々にはご協力をお願いいたします。

また、病後の登園の際は、医師に保育園に行ってもよいかどうか確認して下さい。保育園のしおりにも載っていることですが、前日に38.0℃以上の熱があった場合は、その翌日は登園をみあわせ、ご自宅で療養して下さい。お子様の重症化を防ぎ、園内での感染拡大を予防するためにご協力お願い致します。

＜～熱中症にご注意ください！！～＞

「熱中症？」と思ったら ～意識がある場合～

★涼しい所で休ませる

涼しく風通しのよい場所に本人が楽な姿勢で寝かせる。衣服のボタンやベルトを外す。



★水分の補給

イオン飲料など少量の塩分の入った水分を補給する。

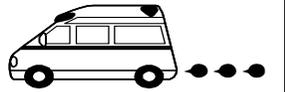


★体を冷やす

首の後ろに冷たいタオルなどを当てる。風を送る。



こんなときは救急車を



- 意識がない
- 水分の補給ができない
- 呼吸が不規則で脈が弱い
- 唇、つめ、皮膚が青紫に (チアノーゼ)
- けいれんを起こしている
- 熱が下がらず、ますます上がっていく

＜RSウイルスが全国的に流行しています＞ 2021年7月5日 NHKニュースより

主に子どもが感染し、重症化する恐れもあるRSウイルス感染症の流行が各地で続いています。東京都内では、小児科の病床の半分ほどが、この感染症の患者で埋まっている病院もあり、重症化する前の早めの受診を呼びかけています。

RSウイルス感染症は、主に子どもが感染し発熱や咳など風邪に似た症状が出る病気で、生後6か月以下の赤ちゃんや心疾患のある赤ちゃんなどが感染すると、重症化する恐れがあります。

今年は、早い時期から感染者が急増していて、専門家の間では、新型コロナウイルスへの対策で去年、感染が広がらなかった結果、多くの子どもが免疫を持っていないことが影響しているとみられています。国立感染症研究所によりますと、全国およそ3000の医療機関の小児科で、先月20日までの1週間にRSウイルス感染症と診断された患者の数は9641人となっています。一昨年と同じ時期に比べておよそ12倍、感染が広がらなかった去年のおよそ440倍に当たります。

★小児科クリニックでRSウイルスの検査をしてくれる所は、少ないのが現状です。

熱・咳・鼻水の症状には十分注意が必要です！